

- ・健康でたくましい子
- ・豊かな心、思いやりのある子
- ・よく考え、学び合う子



毎日が作品展！

校長 麻生 仁

小学校独特の学校文化の一つとして挙げられるのが、校舎内の様々な場所で見られる、児童作品の展示（掲示）だと思います。1学期も、すべての学年のさまざまな作品がたくさん展示されていました。各担任や担当による展示作業等も容易ではありませんが、展示方法のこだわりや工夫、児童一人ひとりの個性が感じられて、とても楽しく鑑賞させてもらっています。



【2年生 スイミー】

南棟の1階から2階へと続く階段の一角には、不朽の名作『スイミー』の名場面を再現した大作が掲示されていました。大きなマグロをチーム一丸となって追いかけるスイミー達の様子には圧倒されるほどです。

また、かしわ級の廊下には、「配膳室調査隊報告」と題した、調べ学習のまとめが掲示発表されています。実際に配膳員さんや給食の搬入業者さんにインタビューを行い、記録写真を撮り、時系列に、わかりやすくまとめた素晴らしい展示です。そして、掲示発表だけでなく、かしわ級児童が全クラスに赴き、直接プレゼン発表を行っていました。最後には、取材協力してくださった配膳員さんにも発表を聞いていただきました。

「自分たちの業務を一生懸命取材し、このように紹介してくれてとてもうれしいです。」

との感想をいただきました。

コロナ禍はまだまだ先が見えず、学校教育活動は、多くの制約を受けながら進められています。

「毎日が作品展！」のような校内に展示された力作の数々を保護者や地域みなさんに鑑賞していただける日が1日も早く訪れることを願ってやみません。



【かしわ級 配膳室調査隊報告】

笹舟

1学期の7月に入ったころだったと思います。いつものように、正門で立哨をしていた私に、朝の散歩をしていたと思われるご年配の男性が横断歩道を渡り、近づいてきました。児童たちの登校マナー等について、ご指摘を受けるのかなあと少し身構えていたところ、

「これ、あの池に・・・」

と言いながら、おもむろに手を差し伸べてきました。その方の掌（てのひら）には、小さな笹舟がありました。

「ありがとうございます！」

と言って、受け取りました。その後、その方は何も言わず立ち去っていかれました。お言葉通りに、笹舟を金魚池に浮かべ、毎朝のように金魚の様子を見に来る児童たちに紹介しました。私

「すごーい！」

と感心していました。間接的ではありましたが、小さな笹舟を通じた、地域の方とのささやかな交流に、心がほっこりした朝でした。



【金魚と笹舟】

図書ボランティアさん募集！

6月10日（木）に行われた「読み聞かせ」と「パネルシアター」を参観させていただきました。授業とは違ったリラックスした雰囲気の中、キラキラと目を輝かせて、絵本やパネルを見つめる児童たちの表情が印象的でした。パネルシアターは、私も初めて鑑賞しましたが、かわいい手作りのキャラクターが、キャラクターごとに分担された読み手のボランティアさんの迫真のセリフ回しに合わせ、絶妙なタイミングで動かされており、観ていてとても楽しく、知らず知らずのうちに惹きこまれてしまいました。また、真剣な眼差しで楽しそうに鑑賞する児童の様子を見て、ボランティアさんご自身も、充実感を得ているように感じました。みなさんのご尽力に心より感謝申し上げます。

なお、ボランティアさんからは、「ボランティアの数をもっと増やしたい。」とのお話も聞きます。興味のある方はぜひご連絡をお願いします。



【過去のパネルシアターの様子】